

理科・総合的な学習の時間（第6学年）

テーマ【 地域ので緑の地球を守ろう ～ニチバン巻心 ECO プロジェクトに参加して～ 】

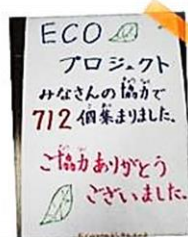
能勢町立久佐々小学校

《学習のねらい》

- 生物と環境のかかわりについて興味・関心をもって追究する活動を通して、生物と環境のかかわりを推論する力を育てるとともに、それらを理解したうえで、環境を保全する態度を育てる。
- 生物は水及び空気を通して周囲の環境とかかわって生きていることを知る。

《学習の流れ》

	学習活動の主な内容・指導のポイント
1	環境問題についての学習 ①「さかなクン」の講演内容をもとに話し合う。[1h：理科] 能勢町環境フォーラムで「さかなクン」が講演した内容「人間が与える、空気・水・生物に対しての影響」をもとに、話し合う。 ②環境問題について調べ、かべ新聞にまとめる。[3h：理科] 環境問題の中で、まず「水と空気」に焦点をあてて調べる。班に分かれ、低学年児童にも分かるように、また、自分たちができることを考えて壁新聞にまとめる。
2	「ニチバン巻心ECOプロジェクト」への参加 ①「ニチバン巻心ECOプロジェクト」について知る。[1h：理科] 「ニチバン巻心ECOプロジェクト」の活動趣旨について知り、学年全体で学習を進めるために、各クラス共通で以下の6つのチームに分ける。（※以下、プロジェクト名は「巻心」、それ以外は「巻芯」と記載する。） (a) チラシチーム (b) (c) ポスターチーム (d) 依頼チーム (e) 回収チーム (f) 呼びかけチーム ②担当チームに分かれて活動する。[3h：総合] (a) チラシチーム：高学年児童用・低学年児童用のチラシを作り、全児童に配布する。地域用のチラシは、用紙の色を変えるなどの工夫をして、依頼チームに託す。 (b) (c) ポスターチーム：回収チームに回収時期や回収方法、巻芯のサイズや種類などの必要な情報を確認し、ポスターを作成・掲示する。 (d) 依頼チーム：依頼先を検討し、校長先生に依頼可能か相談する。依頼先決定後、依頼電話をかける練習をし、実際に電話する。 (e) 回収チーム：段ボール箱に必要事項を書き、手作りの回収ボックスを作成する。校内に設置するとともに、地域用は、依頼チームに託す。 (f) 呼びかけチーム：呼びかけ内容を検討し、朝会や放送でプロジェクトについて全児童に呼びかける。また、フィリピン・ネグロス島やマングローブについても調べ、紹介する。



③進捗状況を確認し、「巻芯」を事務局に送る。[1h：理科]
 回収締切りの1月末に向け、計画通り進んでいるか、それぞれのグループでチェックをしながら回収準備を進める。回収チームは、回収のお願いとお礼の電話の練習を重ね、実際に電話をして、巻芯を回収する。回収されたすべての巻芯を回収チームがチェックし、規定に合うものの数を数える。その結果、回収数は、目標300個を大きく上回る、712個という嬉しい結果となる。



3 学習のまとめ [1h：理科]

学習のまとめとして、チラシチームは家庭配布用のお礼状を作成、ポスターチームは結果報告やお礼のポスターを作成・掲示、依頼チームは、協力していただいた地域の方々に結果報告を兼ねたお礼状を作成・送付、呼びかけチームは、放送で結果報告をするとともに、朝礼で回収された巻芯を全児童に披露する。

《活用したプログラムや教材、ゲストティーチャー 等》

『ニチバン巻心 ECO プロジェクト』

使い終わった粘着テープの「巻芯」を資源として回収し、ニチバンに送ることで、巻芯の個数に応じ、環境 NGO「イカオ・アコ」が行うマングローブ植樹活動をサポートできるプロジェクト。

《成果》

- ・今回の取組みの後に、ニチバンによる久佐々小の取材があり、その時に、現地ネグロス島でのマングローブ植樹の写真をたくさんもらった。そこには、大勢のネグロス島の住民ボランティアによる植樹や、植樹後の手入れの様子が写されていた。その中に、自分たちと同じくらいの年齢の子どもたちが手伝っている様子が写されているものがあり、自分たちの活動が海を越え、ネグロス島の子どもたちへとバトンが渡されたように感じていたようだった。
- ・これまで比較的、受け身で過ごすことが多かった子どもたちが、活動を通してどんどん自主的に動き始めた。子どもたちの活動は、2クラスの横のつながりから始まり、他学年への縦のつながり、保護者そして地域社会へのつながりへと、どんどん広がりを見せた。そして、それはついに海を越え、世界へも広がることになった。そのことは、中学校という新しい世界を目前にした子どもたちの視野を広げ、自分たちも世界に働きかけることができるという、大きな自信を持たせることとなった。

(児童の感想より)

- ・この ECO プロジェクトのおかげで地域の人たちとの交流の大切さもわかったし、ちょっとでも地球温暖化を防ぐことができたのはとてもうれしかったです。
- ・私は前まであまり地域の人たちにあいさつなどをしたりしなかったけど、ECO プロジェクトの回収をするとき、とてもやさしく接して下さってから、あいさつをするようになりました。
- ・今回の ECO プロジェクトをしてみてわかったことが2つありました。1つめはぼくたちの一人ひとりの行動で、こんなに大きなことができること。2つめはたった一つの巻芯が世界や空気、そして我々人間もまもれることがわかりました。ぼくはこの ECO プロジェクトができてとても楽しかったし、おもしろかったです。

